

授業科目名	音響学	授業形態	講義	配当学期	2年（前期）
担当教員名	春芳 準朗	単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>音響学は音を研究する分野であり、音は空気の振動という物理現象です。音声言語を扱う言語聴覚士にとって必要な、音声言語の音響的特徴を理解することを目指します。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>音の基本的な特性と日本語音声の音響的特徴が理解できる。</p>				
授業回数	授業内容				
第 1 回	音波の性質 ①波の基本的性質				
第 2 回	音波の性質 ②定常波と共鳴				
第 3 回	音波の性質 ③うなり				
第 4 回	音波の性質 ④回折・反射・屈折				
第 5 回	音の強さの尺度 ①音圧と音の強さ				
第 6 回	音の強さの尺度 ②デシベル				
第 7 回	音の強さの尺度 ③デシベルの計算・基準値				
第 8 回	音のスペクトル ①スペクトルの意味				
第 9 回	音のスペクトル ②スペクトル分解				
第 10 回	音のスペクトル ③サウンドスペクトログラム				
第 11 回	音声音響学 ①母音の生成のしくみ				
第 12 回	音声音響学 ②母音とフォルマント・鼻音とアンチフォルマント				
第 13 回	音声音響学 ③子音とフォルマント遷移				
第 14 回	まとめ①				
第 15 回	まとめ②				
評価方法	定期試験100%				
教科書 参考図書	<p>〔教科書〕 言語聴覚士のための音響学（医歯薬出版） 言語聴覚士の音響学入門（海文堂）</p>				
履修上の 留意点	理数系を苦手とする学生にとっては、理解に窮することもあるかもしれませんが、中学レベルでの解説を心掛けますので頑張ってください。				
メッセージ	キーワードを中心に基礎からきっちり理解していくことが重要です。				